

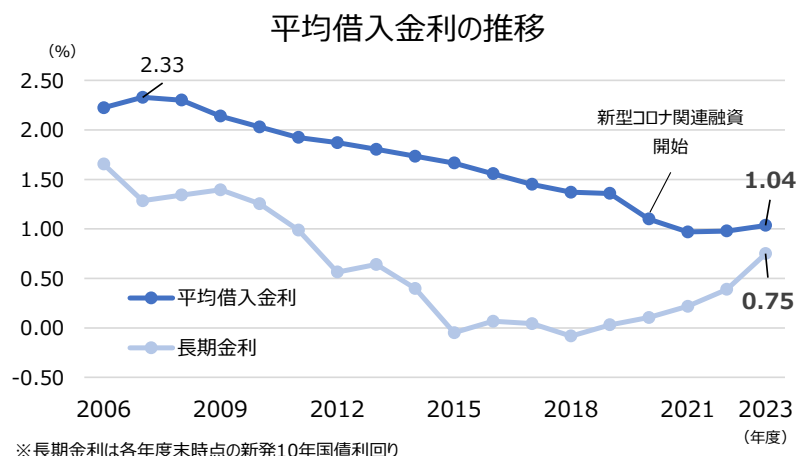
全国平均借入金利動向調査 (2023 年度)

平均借入金利 1.04%、2 年連続上昇 ～ 3 年ぶり 1% 超えも低利続く ～

2023 年 4 月に総裁が交代した日本銀行は、同年 7 月と 10 月の 2 度にわたって長期金利の上限を引き上げた。2024 年に入り 3 月にマイナス金利政策が解除となり、異次元緩和は終了した。この間、長期金利は上昇したが、実際の借入金利はどうだろうか。

帝国データバンクでは、企業単独財務ファイル「COSMOS1」(100 万社・810 万期)を用いて、2006 年度～2023 年度の国内企業の平均借入金利を算出し、集計・分析した。

- ※ 「企業単独財務ファイル COSMOS1」収録のうち、非営利・特殊法人等を除く国内企業の 2006～2023 年度の財務データを集計
- ※ 平均借入金利は、有利子負債(銀行等、保険、ノンバンク、個人借入等を含む借入金、社債、CP 等を含む総額)に対する支払利息の割合
- ※ 本レポートでは、平均値にトリム平均を用いている。全体の最大値および最小値から合計 10% 分のデータを除き、平均を算出した



年度	平均借入金利 (%)	前年度比
2006	2.22	▲ 0.03
2007	2.33	0.10
2008	2.30	▲ 0.03
2009	2.14	▲ 0.16
2010	2.03	▲ 0.11
2011	1.92	▲ 0.11
2012	1.87	▲ 0.05
2013	1.80	▲ 0.07
2014	1.73	▲ 0.07
2015	1.67	▲ 0.07
2016	1.56	▲ 0.11
2017	1.45	▲ 0.11
2018	1.37	▲ 0.08
2019	1.36	▲ 0.01
2020	1.10	▲ 0.26
2021	0.97	▲ 0.13
2022	0.98	0.01
2023	1.04	0.06

株式会社帝国データバンク 情報統括部長 藤井 俊

【問い合わせ先】 牧 秀樹、新井 雄太 03-5919-9341 (直通)

 情報統括部: tdb_jyoho@mail.tdb.co.jp

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。

当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

2 年連続で平均借入金利上昇も、1%の低水準

2023 年度の企業の平均借入金利は 1.04% となった。前年度から 0.06 ポイント上昇し、上昇は 2 年連続。2007 年度（2.33%）をピークに 2021 年度まで 14 年連続で低下した。2020 年度には新型コロナウイルスに伴う実質無利子・無担保の融資（コロナ融資）拡大で 0.26 ポイントの大きな下げ幅となったが、2023 年度は一般の融資における金利の上昇やコロナ融資の借り換えなどによる影響が表れた。

都道府県別にみると、最も平均借入金利が低かったのは「奈良県」の 0.71%。以下、「香川県」（0.74%）、「富山県」（0.81%）と続く。前年度（2022 年度）と比較すると、43 都道府県で平均借入金利は上昇した。都道府県間の金利差の要因の一つとみられるのが、コロナ融資の利子補給制度の違い。民間金融機関によるコロナ融資は、融資実行段階から無利子となる「リアルタイム方式」と、事業者がいったん利子額を支払った後に自治体から利子額が支給される「キャッシュバック方式」があり、「奈良県」「香川県」「富山県」はいずれも無利子のリアルタイム方式だ。

都道府県別の平均借入金利（2023年度、低金利順）

都道府県	平均借入金利 (%)	前年度比	都道府県	平均借入金利 (%)	前年度比	都道府県	平均借入金利 (%)	前年度比
奈良県	0.71	0.05	東京都	0.99	0.09	滋賀県	1.14	0.03
香川県	0.74	0.06	愛知県	1.00	0.01	高知県	1.16	0.005
富山県	0.81	0.04	沖縄県	1.00	▲ 0.05	千葉県	1.18	0.02
和歌山県	0.83	0.03	福井県	1.00	0.04	佐賀県	1.18	0.06
岡山県	0.83	0.03	青森県	1.04	0.07	秋田県	1.20	0.03
鳥取県	0.84	0.05	栃木県	1.04	0.06	宮城県	1.20	0.05
島根県	0.87	0.10	北海道	1.04	0.15	新潟県	1.21	0.04
京都府	0.88	0.07	山形県	1.04	0.09	宮崎県	1.21	0.01
愛媛県	0.88	0.06	岐阜県	1.06	▲ 0.03	熊本県	1.21	▲ 0.03
大阪府	0.88	0.06	長野県	1.08	▲ 0.003	福島県	1.25	0.05
埼玉県	0.89	0.07	長崎県	1.08	0.06	山梨県	1.28	0.07
兵庫県	0.90	0.06	静岡県	1.10	0.13	神奈川県	1.28	0.02
三重県	0.90	0.06	福岡県	1.11	0.03	茨城県	1.29	0.03
山口県	0.91	0.05	群馬県	1.11	0.03	大分県	1.31	0.04
岩手県	0.97	0.05	徳島県	1.13	0.05	鹿児島県	1.35	0.09
石川県	0.98	0.02	広島県	1.13	0.03	全国	1.04	0.06

今後の見通し

2023 年度の企業の平均借入金利は 2 年連続の上昇となった。ただし、前年度からの上昇幅は 0.06 ポイントにとどまり、マイナス金利政策や従来の貸出競争を背景に、依然として企業への貸出金利は低く抑えられていたことが分かった。都道府県別では、新型コロナウイルス関連融資の利子補給制度の方式の違いによる影響がみられた。2024 年はマイナス金利政策の解除、7 月には追加利上げも実施され、「金利のある世界」に戻った。さらなる追加利上げ観測もあるなかで、「東京圏では金利の引き上げが受け入れられている」とする金融機関もあることから、異次元緩和の終了が反映される 2024 年度も平均借入金利がさらに上昇するものと見込まれる。